Ree

リー

Portfolio

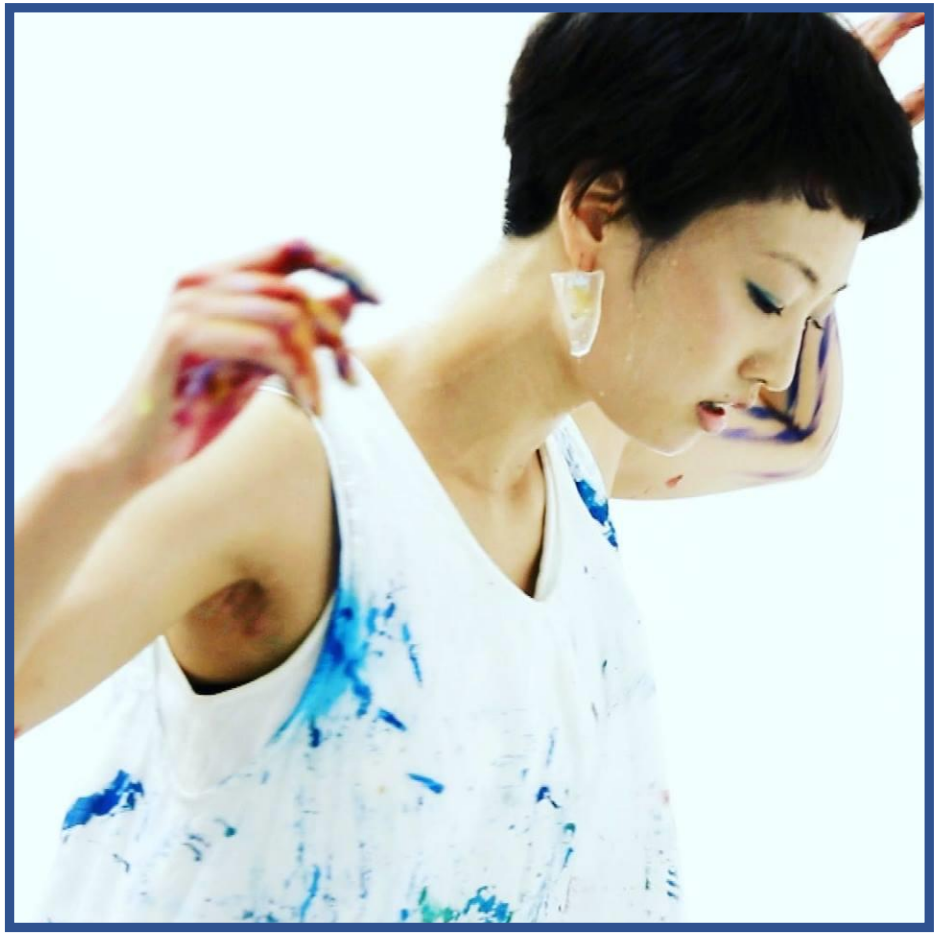
ポートフォリオ

こちらからもご覧頂けます➔

Ree(リー)
ダンスペインター/セラピスト

プロフィール：
バレエダンサーを経て舞台監督助手を務めた後、踊りながら絵を描く「トゥシューズペインティング」を生み出す。「Festa Scramble」にて外務大臣賞、主演映像作品は最優秀長編映画賞（イタリア/トルコ/スペイン）等受賞。
近年ではパフォーマンスと並行してリラクゼーションセラピストとしても活動しており、今回のIndependentTokyo2021ではセラピストの行う肉体的・精神的な行為を通して人間を描く「セラピストペインティング」の展示とパフォーマンス(両日12時～)を行う。

受賞：
・動物愛護イベント「Festa Scramble by R99」外務大臣賞
・主演映像作品「私はどこから来たのか、何者なのか、どこへ行くのか、そしてあなたは・・・」最優秀長編映画賞
（イタリア“Rome Prisma　Independent Film Awards"／トルコ"GOLDEN WHEAT AWARDS"／スペイン"Madrid Art Film Festival")
・被写体写真作品「Tokyo color」ファッション部門入選
(アメリカ"International COLOR　AWARDS")

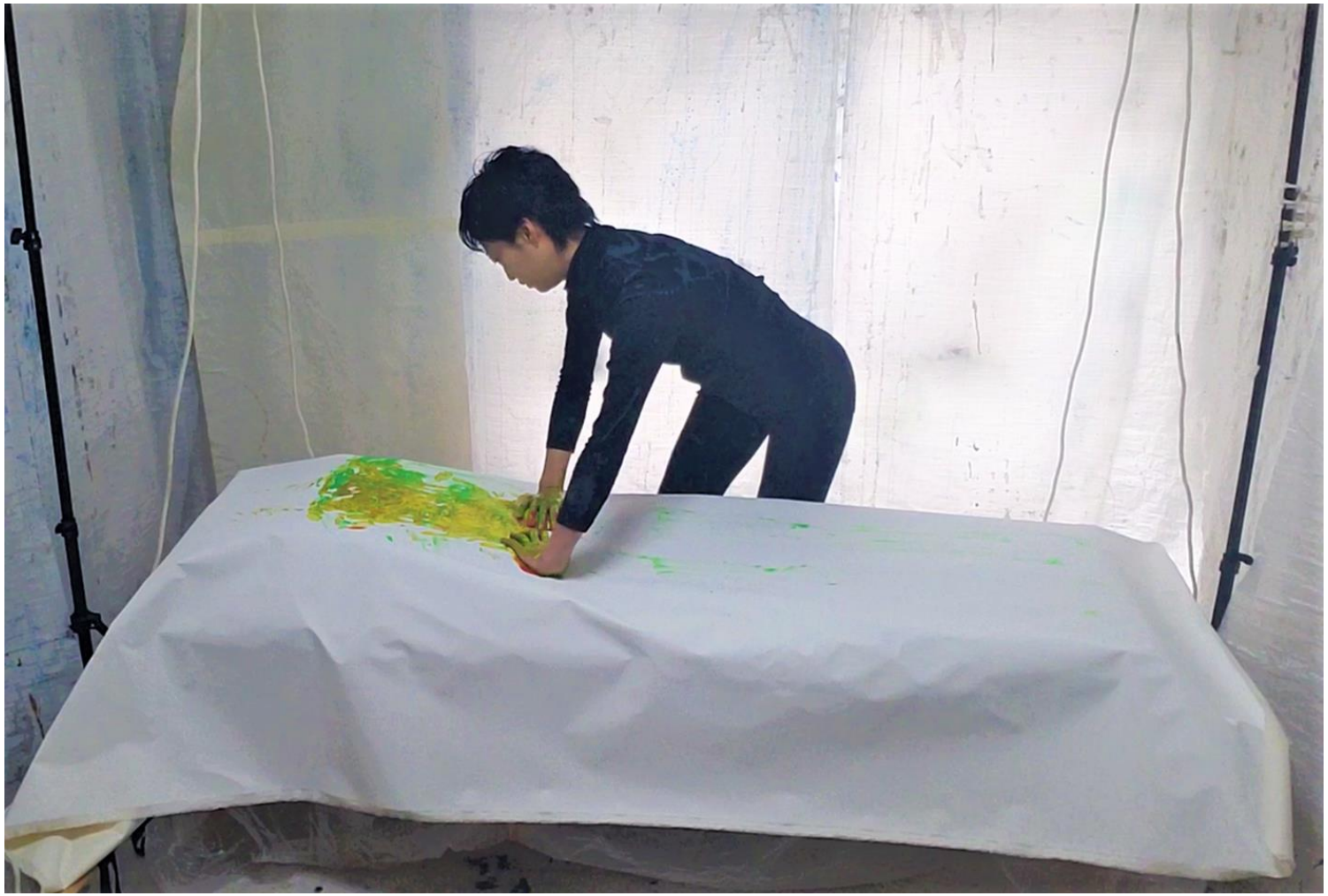


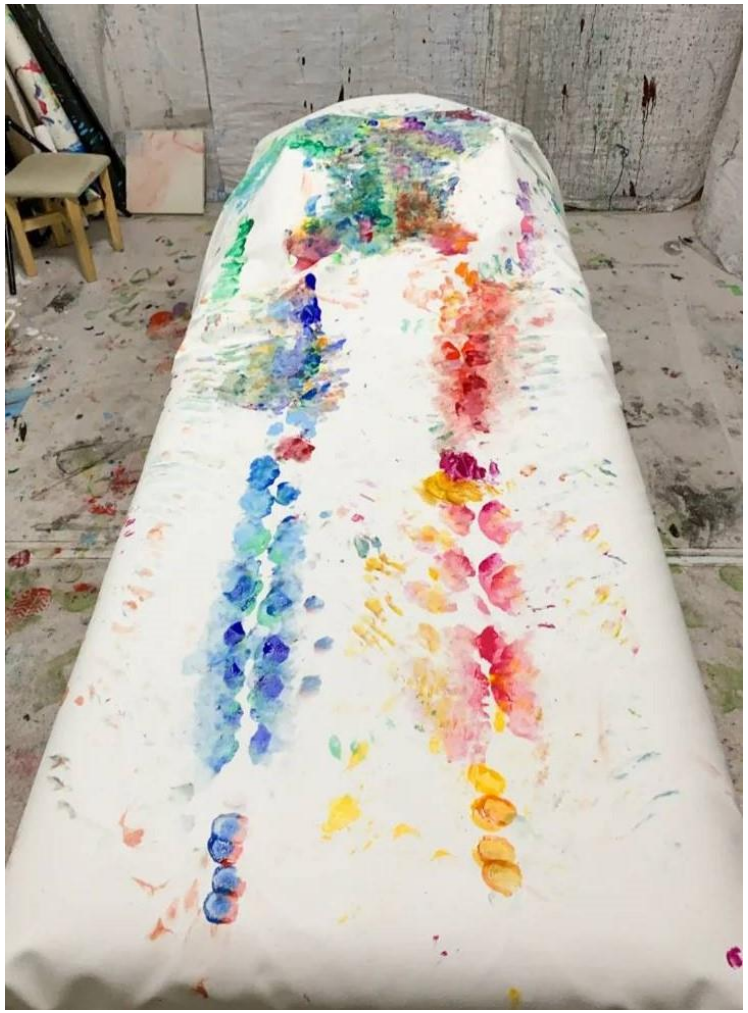
Reeオフィシャルサイト

YouTube
ヒルズブレックファースト

Reeのダンスペインティング誕生秘話・
現在の活動・今後の展望etc…

セラピストペインティング





リラクゼーションセラピストが身体をほぐす時の手の動きの軌跡を、絵の具で残した絵画作品。
セラピストが心と身体と向き合う行為が、人間の形として描き出される。

コンセプト

このセラピストペインティングでは、
人間の心と身体を探求する喜びを表現している。

私はダンサーとして、自分の内側から自分の身体を見つめてきた。
身体というものは、なんて美しく機能的で、正直で、取り扱いが難しいのだろう、といつも思っていた。
どんなにトレーニングしても、次の日には元に戻ってしまう。保存がきかない、部分修理ができない。
痛みや不快に弱く、感情に左右されやすい。
本番で最高の力を発揮するために、呼吸法やイメージ、身体トレーニングを組み合わせ、
身体と思考と感情の繋がりを研究し続けてきた。

セラピストとしては、人間の身体を外側から眺め、触れ、感じ、変化させていく。
言葉を交わすことによる意思疎通や、身体への触れ方が適切な時、クライアントはリラックスし、身体の力は抜け、
こわばっていた筋肉は魔法のようにほぐれていく。
どんな人も身体の疲れる箇所は似ている。しかし同じ疲れ方は一つもない。
同様に、同じ身体は一つもなく、あらゆる個性と出会う。今だかつて自分が体感したことのない、
様々な形状の身体に触れる時、私は驚愕する。

この内側から、そして外側から捉えることのできる心身を描き表す方法を模索し続けてきた。
特に自ら生み出した、踊りながら絵を描いてダンスの軌跡を残すトゥシューズペインティングというパフォーマンスは、
私の感覚に大きな影響を与え、変化をもたらした。
感情・感覚・色彩・描線を、連動してイメージすることができるようになった。
例えば、悲しげなメロディーで腕を柔らかく動かして踊る時、水色の水彩絵の具でうっすらと曲線を描くイメージが思い浮かび、
情熱的なメロディーで足を蹴り出す時、赤色のアクリル絵の具が激しく飛び散るイメージが思い浮かぶ。

セラピストの手の動きの軌跡を残すセラピストペインティングでは、身体の部位や筋肉の質や疲れ具合等、
手の平から感じ取ったものが、色彩のイメージとして思い浮かぶ。
例えば血行が悪いと痛みを感じる、足の裏の腎臓の反射区は茶色がかった紫色、
知らず知らずのうちに酷使して、疲れを溜め込んだ腰の筋肉は渋い赤色のイメージが思い浮かぶ。
精神的なストレスも重なり、石のように固くなってしまった筋肉の場合、セラピストは指が痛くなるほどに、
汗だくになってほぐしていく。そういった箇所は、絵の具の量が増え、あらゆる色彩が密になって混ざり合い、濁り、
混沌とした印象になる。

このようにして私は、踊り、施術をし、描くことを通して、心身を探求する。
自分をよく知りたい、人間をよく知りたい、そして自分の奥底に触れたい、という探求心を満たすその喜びは、
色とりどりの絵の具となって、大きなキャンバスの上で表現される。

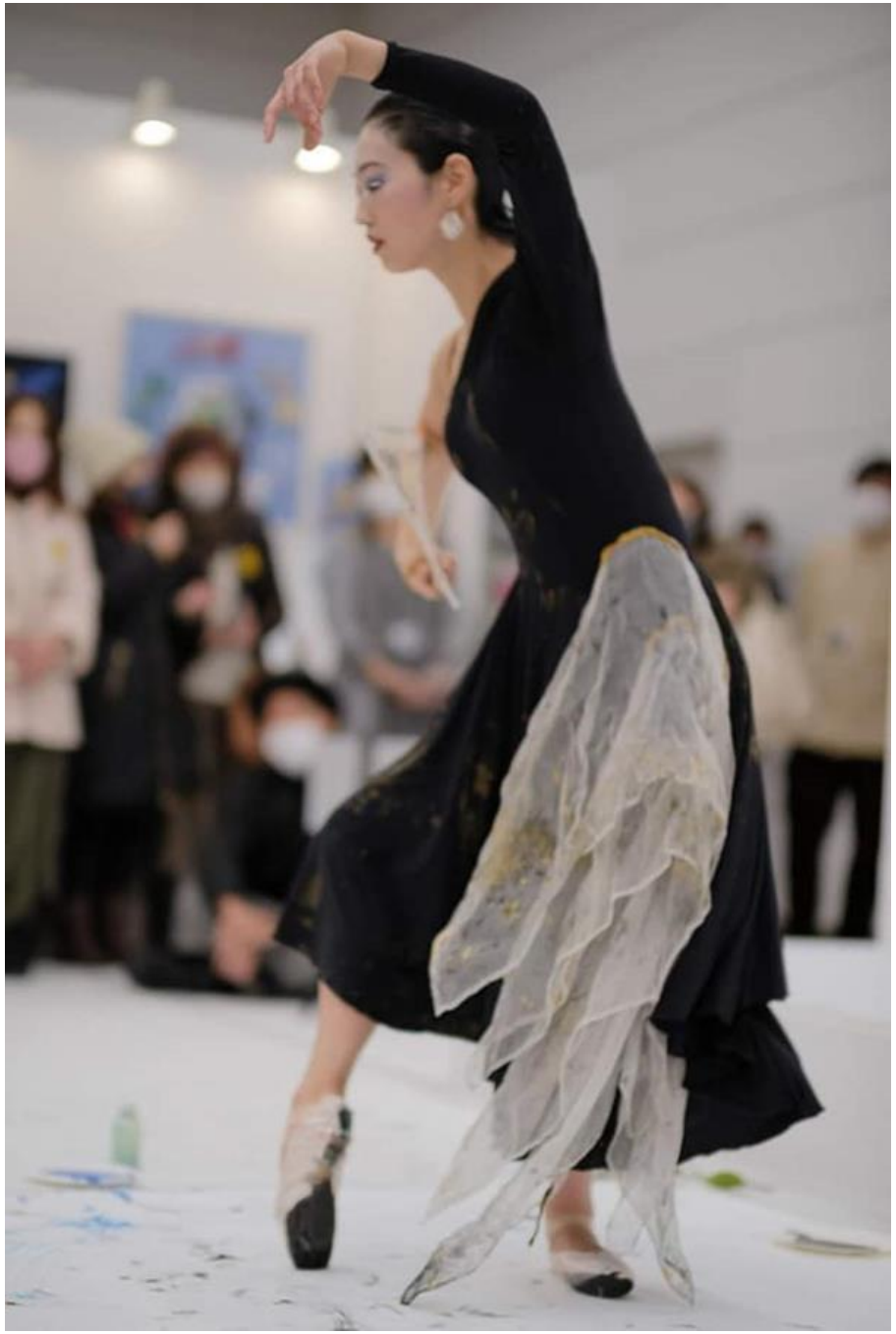
Photo : RYOTA

作品名：「主訴：全身
30分コース」
素材：キャンバス、アクリル
サイズ：２ｍ×1.4m
制作年：2020年

作品名：「主訴：冷え性・腰の疲れ
フットケア30分」
素材：画用紙、アクリル
サイズ：30㎝×28㎝
制作年：2020年

ダンスペインティング

絵の具を撒いたキャンバスの上で踊り、一枚の絵画作品を完成させるパフォーマンス。
ダンスで表現される音楽・身体の動き・感情が、色彩や線となって描き出される。

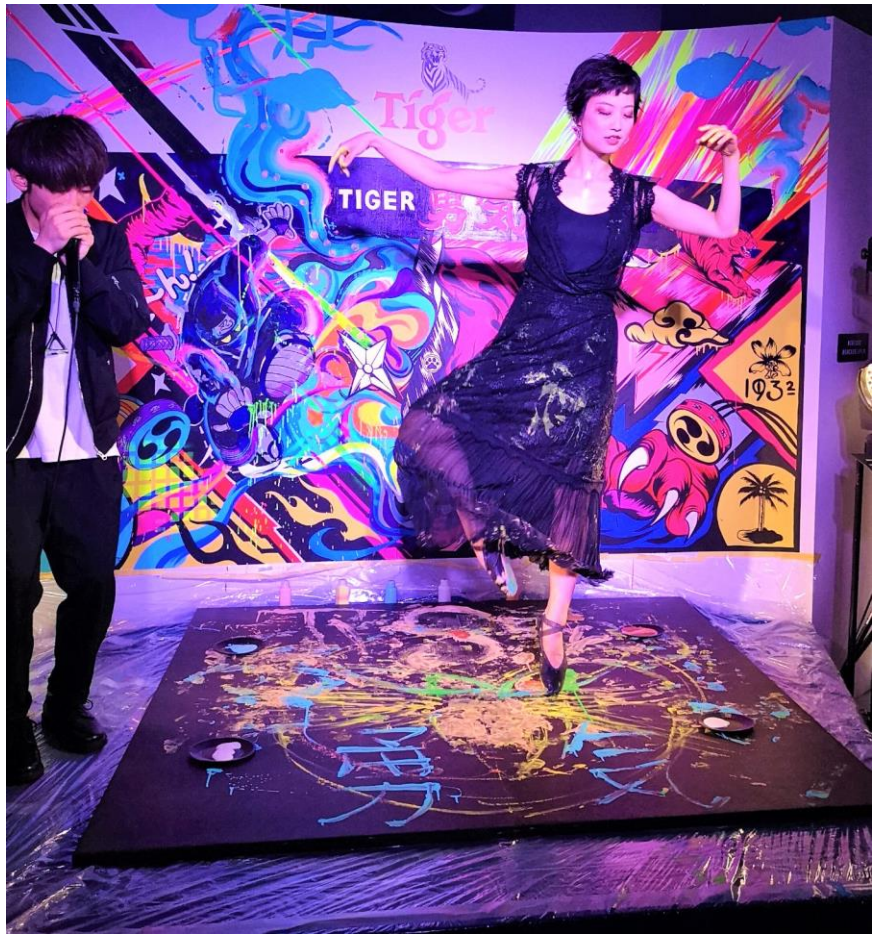


作品名：「鶴」
イベント名：Independent Tokyo 2020
素材：墨、日本画絵の具、和紙
サイズ：2m×2m
パフォーマンス時間：15分
制作年：2020年

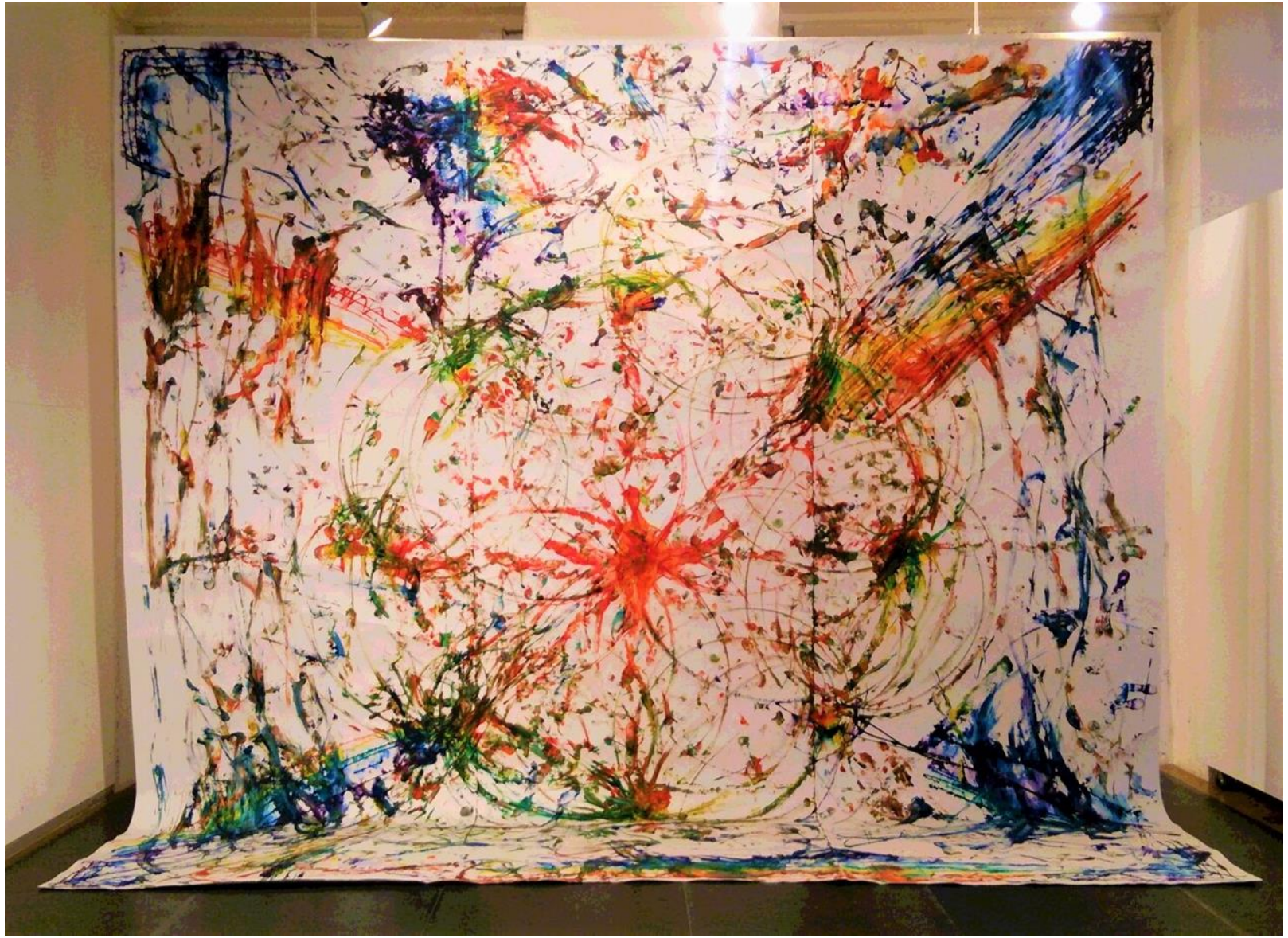
作品名：「FOR」
イベント名：De Gevleugelde Stad Ieper 2019
（ベルギー大道芸フェスティバル）
素材：墨、アクリル、和紙
サイズ：直径3.5m
パフォーマンス時間：25分
制作年：2019年

作品名：銀河「Pipeline」
イベント名：TEDx Meiji University
素材：墨、アクリル、画用紙
サイズ：4.5m×2m
パフォーマンス時間：18分
制作年：2017年

作品名：ロゴ「SOREL」
イベント名：
SOREL×Greenroom Festival
素材：アクリル、キャンバス
サイズ：3m×3m
パフォーマンス時間：15分×４回
制作年：2018年



作品名：「UNCAGE」
イベント名：Tiger Beer “UNCAGE NIGHT”
素材：アクリル、キャンバス
サイズ：1.8m×1.8m
パフォーマンス時間：15分×2回
制作年：2018年



作品名：「貫」
イベント名：BankART Studio
“OPEN STUDIO 2015”
素材：アクリル、画用紙
サイズ：5m×5m
パフォーマンス時間：20分
制作年：2015年

作品名：銀河「ステファンの五つ子」
イベント名：江古田ユニバース2015
素材：アクリル、画用紙
サイズ：直径4m
パフォーマンス時間：１５分×５回
制作年：2015年

作品名：「渦潮」
イベント名：Point Paint
素材：アクリル、キャンバス
サイズ：3m×4m
パフォーマンス時間：34分
制作年：2016年